

山と博物館

第9巻 第11号 1964年11月25日 大町山岳博物館



民主政治と文化都市

政治界は、思想(哲学)科学界に比べて幾世紀もおくれているといわれる。最近の国際政治における、見慣れやとりや、かけひきをみただけでも、このことは確かにうなずける。

ところで、地方政治はどうだろうか。やはり、あまりにも政治家でなく、政治屋の人々によってとり行なわれている面が多いように思う。地方政治が伸びるためには、私は、八百長、やじ馬の衆の政治批判と、それによって代表者が選ばれてしまう現在の姿に大きな疑問を持つものである。

思うに、地方政治に関しては、大衆が信頼し、尊敬するに足る公平無私、中庸な立場で、政治を正しく批判し、評価する評論家がないのではないかと。またそういう人々を育てようとするのではないかと。あるいは、そういう人が生れることのできるような(軽視するような)地方社会の空気があるのではなからうか。私は他地区に誇りうる評論家群をよめる地域社会を夢みてやまない。

知識人、文化人の声が、地方政治に重んじられ、地方政治に繁栄するような社会でありたいし、そうしてこそ始めて、文化都市、文化国家が誕生するのではなからうか。

山岳博物館がこんな意味から、文化都市大町の発展に役立ったら、その意義は大きいと思うし、是非そうさせたいものである。

(長沢 武)

雷鳥を育てる

特にそのエサについて

海川庄一

山岳博物館ではきょう年に引続いてことしも雷鳥の人工孵化と育雛を試みております。昨年は爺ヶ岳の西尾根の一巣から四卵を持ち下ろして人工孵化を行い、無精卵一卵を除き三ヶの卵の孵化に成功したのですが、雛は最高一ヶ月半しか育てることができず、何れも落命させてしまいました。

そこで、これは何とか育雛に成功したいと考え、当初、国の文化財保護委員会と農林省から二巣八卵の採卵許可を得ておきましたしかし、六月中に二回にわたって爺ヶ岳へ採卵のために職員が出動しましたが、一巣しか発見することができず、結局、一巣四卵を得て雷鳥の孵化にとりかゝりました。そんなわけで、当初の二巣八卵による人工孵化と母鳥孵化を比較する計画は実施できず、人工孵化だけにプランを縮小して実施したわけです。

採卵隊の手によって爺ヶ岳から四つの卵が下るされたのは六月二十八日でした。例年現地では七月上旬、早ければ六月の末にもライチョウの雛が見られるので、おそらく孵化の相当進行した卵が下りて来るものと想像していました。ところが、持ち下ろされた卵を検卵してみたところ、気室は全く見られず、産みだての卵と同じでした。

そんなわけで、幸運にも、完全な人工孵化を試みることができました。そして七月二十日から二十一日にかけて、四卵とも正常に殻を破って孵出しました。その後、二羽の雛は

餌付段階で落命し、残った二羽が若鳥にまで成長しましたが、そのうち一羽は九月の下旬にひたひたの部分に原因のわからないコブ(腫瘍)ができ、次第に悪化して、眼が開かなくなり、十月十五日に落命しました。現在はたった一羽だけが生き残って越冬期を迎えようとしているわけです。

雛卵の経過やその後の成長については、現在資料を整理中であるので、後日改めて書くことにし、ここでは飼育上重要な餌の問題だけを取り上げてみたいと思います。

何を食べさせるか

ライチョウ飼育の上で、最大の問題は何といても餌の問題です。ライチョウの人工的飼育は全く未開拓の分野であり、今のところ参考となるほどの報告も見当りません。広く言えばライチョウもニワトリ、キジ、ヤマドリ、ウズラなどの仲間であり鶏属目に含まれますから、養鶏や養鶉の経験や知識も役立ちますが、何よりもライチョウそのものを知ることが先決です。

さいわい、山岳博物館ではここ数年、ライチョウの生息調査を進めて来ており、これは、現地飼育も手がけておりますので、自然状態においてライチョウが何を食べて生活しているかがわかっております。彼らは実にいろいろな種類の高山植物の葉や花や茎や種子を食べているのです。そこでライチョウを低地で飼育する場合、先ず第一に彼らが山の

上で食べている植物を取って来て与える方法が考えられます。これはライチョウにとっては大変良いことですが、実際問題となると労力がかゝりすぎ、長続きしません。

そこで第二に、平地の野草を与えて飼育する方法が考えられます。これも良い方法ですが、欠点はライチョウの好む野草が時期によつてはそう思うようには得られないこと、農薬をかぶっている危険があることです。

第三に人間並に野菜を食べさせることで多少金がかゝりますが、物によっては冬季にも手に入れることができ、ある程度コンスタントに与えることができます。しかし、野菜だけを与えたでは必要な栄養が補えないのではないかと考えられます。

そこで、ニワトリに与えるような完全配合飼料を作ることが考えられます。これだと一年中使えますし、ビタミン・炭酸カルシウムや食塩その他のミネラル・病気の予防薬なども混入することができます。特にライチョウは緑餌を多食する関係が普通はほとんど水を飲みませんから、病気になるても治療薬を水にといて飲ませることが困難です。病原菌の多い下界で育てるので、発病時の対策も充分考えておかなければならないわけです。そんなわけで、これはライチョウの低地飼育に当っては特別配合飼料を主食とし、これに野菜を必ず添え、更に野草を加味して与えるようにしました。

配合飼料の設計

ライチョウ用の特別配合飼料を作る場合、先ず、二つのことが問題となります。

第一は「蛋白・脂肪・炭水化物・無機質・ビタミンなどをどんな割合にどの程度与えたらいいか。またそれは各成長段階によってどの

ように変えていったらよいか」という問題であり、いわば栄養基準の問題です。

第二は、「それらの栄養をどんな材料(餌)でまかなったらいいか。そのためには各材料の配合割合をどのようにしたらよいか」という問題であり、配合率の問題です。この二つのことと共に、各材料の調理のし方と給餌の時刻や回数、一日に与える量などが問題となつて来ます。

ライチョウの雛の栄養基準については今のところ確かなことは言えませんが、ニワトリの育雛段階の基準を準用しても、そう大した無理は無さそうです。たゞライチョウは繊維の消化率が非常に良いし、不消化有機物(B・S・T)の要求度も高いようですから、やはり、緑餌の多給が必要です。

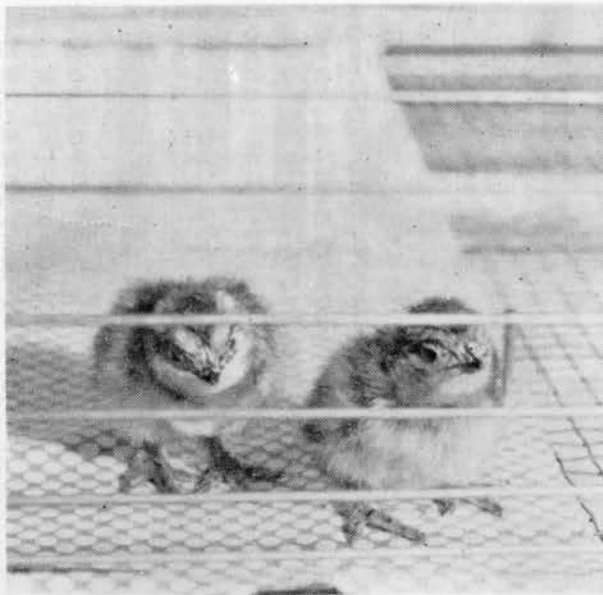
私はこの場合幼雛段階で組成粗蛋白質18%とし、孵化後三ヶ月の若鳥段階で13%となるよう少しづつ落して来ました。脂肪は各段階を通じて5~6%に圧えて来ましたが、ライチョウの好みにまかせて摂らせると、比較的脂肪の多いものを食べたがる傾向が見られます。材料をライチョウの好みに合せた関係上、養分総量(T・D・N)は幼雛段階で72、若鳥でも64くらいになり高すぎる傾向でしたので、配合飼料は成長段階に応じて或る一定量に制限し、重量にして約5倍の緑餌で腹を満させるようにして来ました。

配合飼料に使用した材料は、トウモロコシ・コムギ・玄米・アワ・ヒエ・米ヌカ・フスマ・大豆粉・魚粉(フナ粉・花カツオ)・乾蚕蛹・トコロコブ・炭酸カルシウム(ボレー)・食塩などですが、このほかにビタミンA・D剤としてアルビダ(0.1%)、B剤としてビーフィード(0.04%)、ミネラル剤としてミネックス(0.1%)、抗生物質とし

てオーロファックス(オーレオマイシン含有)、更にコクジシウム等の予防薬として、ヒヤ百80(フラゾリドン含有)またはアマイドンを添加、常用して来ました。

ライチョウは大豆粉・コムギ・アワ等は非常に好むがヒエやフスマはあまり好まない。特に幼雛はフスマの割合が少し多くなると配合飼料をきらう傾向があり、サジ加減がむづかしい。育雛期は真夏であるから材料の変取する危険があります。特にコムギは、脱脂コムギが手に入らず、生コムギを使って来たので、脂肪が多すぎてあまり多くは使えず、しかも、夏は一週間もすると変敗してくるのでやっかいです。大豆粉・魚粉・蛹・フスマなども悪くなり易い材料ですから、夏は一度に多量を配合しておくことは非常に危険であり四〜五日ごとに餌の調合をやらねばなりません。

孵化直後のヒナ



んでした。

緑餌の多給

配合飼料は形態が粒餌と粉餌の混合であるから、このまゝ与えると、最も食べ易く好みに合うヒエの粒をえり喰いし、消化不良を起すおそれがあります。そこで、配合飼料を等重量の緑餌とすりませて搾り餌に近いような練り餌として与えました。こうすると、適当に水分が含まれるので、配合飼料もすつと食べ易くなり、のどにつかえるようなことはなくなるし、多少なりとも消化もし易くなり、緑餌の味もついて、ライチョウは非常に好んで食べるようになる。しかも、一度に多量の配合飼料を喰うことができないから胃腸に対する負担も軽くなり、まさに、一石五鳥の効果があるわけです。

練り餌に使う青物は搾

り鉢で良くすりつぶすのですが、これとは別に多量の緑餌を単味で与えるようにしています。切りきざんで与えると、直射日光が当たれば、せっかくの新鮮な緑餌も干物になってしまいますから、一種類ずつ別々に牛乳瓶に差し、自由につばませるようにはしてあります。こうしておくとし、沢なもので、切りきざんだ青物などよほど空腹にならないと摂ろうとしない。また、緑餌の残量によってその日の食欲の程度もわかり、健康状

態のバロメーターにもなります。

配合飼料(練り餌)は制限しているため、一日二回飼いの現在でも与えてから二〜三時間完全に食べ尽してしましますが、常に緑餌を切らさないようにしていますから、そう空腹を感じることもないようです。

緑餌さえあれば、無制限に何を与えても良いというわけにはいきません。好むものが充分与えられていけば問題は少ないが、腹がすけば毒なものも食べないとも限りません。今まで与えてみて好みにも合い、胃腸にも無理のないものはウグイスナ・ミズナ・ミツバ・キャベツ(青い部分)・白菜・結球白菜(緑の部分)・レタス・サラダナ・小松菜・野沢菜などの野菜と、レツトクローバー・ホワイトクローバー、ツリガネニンジン、オヤマツバ、イタドリの花、アキノキリンソウ、ハコベなどの野草です。

ホウレンソウはあまり好まないし、キク菜は全く食べません。ピーマン・ニンジン・リソゴなどは非常に好むが多給することには問題があり、大根葉は多給すれば下痢を起します。ナツハゼ・ホツツジ・ヤマツツジなどツツジ科の樹木の葉や芽を好みますが、これも多給は問題です。ニセアカシヤやクワなど栄養価の高い樹葉を好む傾向がありますが、おそろく偏って与えたら危険だろうと思われま

す。

自然状態ではライチョウは各種の植物から各種の必要な養分(特に各種のアミノ酸やビタミン)を必要なだけ摂っているのでしょうから、なるべくバラエティーに富んだバランスの良い献立てを作つてやりたいものです。

(山博学芸員)

ギヤチユンカン映画会の報告について

報告について

十一月六、七、八日の三日にわたつて市民会館で開催したギヤチユン・カン登頂の報告と映画会の会計がまとまつた。収入総額は一七三、七四七円、支出総額は一三、四三六〇円で三九、三八七円の余剰金が出た。一般料金八〇円も、小中高校の一人五〇・二〇円も松本や長野にくらべて低かったのだが、市民が計画以上に多数観覧したために生じたもので感謝したい。

支出はフィルム代六〇、〇〇〇円、チラシ、ポスター観覧券印刷二二、六〇〇円、税金一三八五〇円、山の会ほか手伝い賃金一五、〇〇〇円、食事費六、一〇〇円などである。

余剰金のとりあつかいでは関係者が頭をなやました。結局小、中、高校生への還元の意味で、これも劇場に一〇、〇〇〇円、市民のみなさんには返すことも困難なので一たん市の会計へ入れて、間接、直接市民のみなさんに利用していただける施設や、活動につかつたらということになった。

それにしても、この映画会を成功させるために御助力ねがった山の会、婦人会、青年団、商工会議所、市内各学校にお礼を申しのべたい。とくに山の会々員は深夜まで二十数名が三日間にわたつて努力してくれてありがたかった。券にミスプリントがあつて一部市民に迷惑をかけたこともあつたが、総じて成功裡に終つたことを報告したい。

(藤巻)

江戸時代の婚姻においては、嫁ぐ人についての「宗門送り」というものが必要とされた左はその実例である。

宗門送り一札の事

一 当村由之丞妹まつ、年二十六才、今度そかもと村栗林五郎右衛門殿借家市右衛門妻に縁付き遣し申し候、この者、出生たしかなる者にて、宗門は代々禪宗来馬村常法寺旦那に紛れ御座なく候、すなわち、当宗門御改めより、当村帳面相除き遣し申候間、そかもと村御帳面に御書き入れなさるべく候後日のため送り一札よってくだんのごとし

明和九年 石坂村組頭 伊左衛門 同断 九兵衛

大町村 庄屋 細野八郎右衛門 庄屋 細野太兵衛 次郎右衛門殿

同

佳五右衛門殿

宗門一札の事

一大町組石坂村由之丞妹、先祖代々当寺且那に御座候、この度栗林五郎右衛門殿借家市右衛門妻に縁付き参り申し候上は、夫と同宗になさるべく候、拙寺かまい御座なく候もし御法度の宗門と申す者これ有るに候ては、何方へも罷り出て申し訳仕るべく候、後日のため宗門請状くだんの如し

明和九辰年 来馬村 常法寺

大町村

庄屋、次郎右衛門殿

同 佳五右衛門殿

松本藩の宗門改め (一)

巾 具 義

これは石坂村(南小谷)の娘が大町村へ嫁に行くについて、その娘の住んでいた石坂村の庄屋組頭から出されたいわゆる「宗門村送り状」と、所属の寺である来馬村(北小谷)の常法寺から出されたいわゆる「宗門寺送り状」とが一通にされたため、嫁はこれをもって嫁いでいった。いわば在籍証明書である。村送り状の内容を見ると、嫁に行く二十六才のこの娘は、生まれもたしかないので、彼女の家の仏教の宗派は代々禪宗で、来馬村常法寺の旦那に所属していることに相違ない今年の宗門改めの際より当方の帳面から除名したから、嫁ぎ先きのそちらの帳面に書き加えてほしい、といっている。この帳面とは宗門改め帳を指している。

また寺送り状では、村送り状同様当寺の旦那であることに相違ないことを述べた上、今度そちらへ嫁ぐからには嫁ぎ先きの夫と同じ宗派にしてほしいそれについて当寺は一言の故障もいたさない。当人が、もし御法度になつて宗門すなわちキリスト教信者であるという様な人が居たら、当寺はどこまでも出かけていて、あくまでもキリストタンでなく当寺の旦那であるとの申し開きをいたしましょう、というのである。この両状からわかることは、嫁組には、必ず仏門に帰依していることの証明すなわちキリスト教信者でないとの身の証しがないてはならないことである。このような証明は奉公・旅行・移住などにも必要とされたもので、これを寺請制度というが、次号ではその基礎となる宗門改めについて見よう。

イカル

長沢修介

私の家は市外地にあり周りが田圃で点々と人家の並ぶ農村であるため、時々小鳥の美しい囀りで目ざめることがある。

初冬の頃、寒くてもう少し寝床のぬくもりを楽しもうと思っている時など、隣家の大きな栗の梢などで、キコキ、アケベコキ、と大声でイカルの美しい囀りなどやられると寒さもなんのその、パツととび起きて、ねむ気も何処かへすつ飛び、すつきりした気持ちになる。昔から親しまれているせいこの鳥の囀りにもいろいろと聞き方があり面白い。

アケベコキを(赤え衣こ着)と聞き晴天、(義笠着い)と聞える日は雨だと言う。その他、お菊は二十四、又は四六、ニイチウ四一とも聞き節廻しの面白さを現している



博物館ニュース

補正予算決まる

九月補正予算は十月十九日市議会をとつた。山博関係の才入は一七万円、才出は一三五万三千円で、才入の主なものには税収収入六四万八千円、国庫補助二五万円、県費補助一二万五千円である。

才出面では、天覧品展示事業費四万七千円、コマクサ保護増殖費五万円、ライチョウ保護事業費六〇万五千円、カモシカ捕獲事業処理費九万二千円、単行本「雷鳥の生活」発刊にともなう経費三六万円などで、ほかに植物、動物の調査や、資料収集費五万七千円が計上されている。

こんどの補正予算では、当初予算成立後才入の確定した補助金による事業費が主に才出面に計上されており、新規の事業費はない。しかし補助金等によりライチョウ飼育研究舎ができ、一般財源の一部繰入れてギャクンカンの写真や資料、植物の展示コーナーの充実が図られたのが成果となっている。

表紙説明

衣がえした人工孵化の雷鳥(11・18)

撮影 高橋秀男

山と博物館 第九巻第十一号

発行所 長野県大町市TEL(大町)二二二 大町山岳博物館

印刷所 大町市上仲町

信州印刷大町工場